

〜瀬戸家の歴史〜

経済学部経営学科
17030090
松島 健

明治初期

〜 四国から北海道へ

矩雄さんの祖父が砥山にてリンゴ園を開業(本家)
家の周りは原生林に囲まれていたそう。

〇 瀬戸さんの名前は瀬戸内海より由来?
自給自足の生活は大変だったのだから。

昭和2年

〜 修一さんの父矩雄さん誕生!

高校卒業後、サラリーマンとして働いていたが、
本家の隣に分家として同じくリンゴ園を開業

〇 本家は矩雄さんの兄が継いだ。

昭和24年

〜 果樹園開業(分家)

リンゴからぶどう、サクランボ、ナシ、イチゴ、ブルーベリー等
多品種を栽培するようになり顧客を呼び込む

〇 工夫が成功!!

昭和28年〜修一さん誕生

学校卒業後、サラリーマンとして道外へ出て、
埼玉県の実協会で働いていた。

〇 やはり農業に
魅力を感じたのかた
へたろうか?

平成10年

〜 修一さんUターン

なぜ戻ってきたのか? 詳しくは右文参照。
〇 ここには感動的秘話が...

平成14年

〜 八剣山トンネル開通

開通とともに八剣山発見隊が発足!!
毎年客数を伸ばし地域活性化へ
只今爆進中!!! 頑張ってください!! 応援してます!

父と子の愛

〜 なぜ修一さんは
戻ってきたのか? ~
父矩雄さん曰く、

〇 今の農家の過疎化が
深刻になっている。嫁が
来ない訳ではない。

子供が継ぐ意志を持た
ないのだ。子供は親を
見て、農業とは所得が
不安定な上、一年中

仕事が絶えないのだ。
子供は「農業 = 過重労働」
と判断してしまっている。

だが修一さんは違った。
2年前に妻を失った父
矩雄さんの年齢、健康を

気遣い、心配していた。
結婚した後、ふるさと
砥山に舞い戻ってきた。

その片腕には奥さんお
トルコ人のメラルさん。
まさに国際化の第一歩

である。砥山農業小学
校を開校するなど、積
極的に活動し、地域活
性化のための大きな
力になっていることは
言うまでもないだろう。

H17.7/26

砥山ふれあい果樹園にて。

砥山ふれあい果樹園 Mountain



経済学部
経営学科
3年
17030079
津原 徳裕

8班
~砥山ふれあい
果樹園に2~



H.17.7.26.

砥山ふれあい果樹園では、さくらんぼ、りんご、ぶどう、いちご、うめを栽培しており、園内には約600~700本の木が植えられています。敷地内には果樹園の他に、経営者である瀬戸さんの自宅・車庫・家庭菜園などがあります。この50000平方メートルにも及び広大な敷地は、おじいちゃんお父さんお母さん娘さんそして5.6人のパートの方で管理されています。


果樹園は、八剣山と豊平川に囲まれた地帯にあり、山菜や魚をとることもできます。またこの壮大な自然はおじいちゃんの少年時代の遊び場としても利用されていたようです。

果樹園を経営する中で最も悩まされるのは天候です。雨・雪・気温・台風などの自然現象に収穫が大きく左右されます。

また、採算性が良くないし、かりとした休みがとれないなどの理由から経営者の不足という問題にも、近年は悩まされているようです。

砥山ふれあい果樹園スケジュール

○ 年間

月	行事・作業
4	剪定
5	木の診察
6	開花
7	さくらんぼ収穫 (上旬さくらんぼ狩10-7)
7/7	さくらんぼ祭り
8末	りんご収穫 ~ 10月
9末	ぶどう収穫 ~ 11月
11	りんご販売 
12	休養 ~ 1月中旬 (1年の総決算 来年の設計)
2	剪定

肥料・農薬散布

○ 1日



12
さくらんぼ祭り
砥山ふれあい果樹園の瀬戸さんを中心として
砥山農業クラブをはじめ、行政ほか、町ぐるみで
行われている観光企画。
マスコットの協力により、昨年は、1日に約4000人
が訪れた。

▼ 果樹園は年間を通し朝から晩まで忙しい
その忙しさから子どもも跡継ぎでたからない...
⇒ 後継者不足
今後観光産業の発展により都市部から
農業に携わりたいという人が多く移住し
てくることを期待したい。
%6 (4) 砥山ふれあい果樹園に、 相次任菓子

砥山ふれあい果樹園の人達

17030138 経済学科3年 松田 良介

瀬戸 矩夫さん(78)



今回の砥山ふれあい果樹園でこのおじいちゃんに話を聞きました。このおじいちゃんには、5人兄弟の3番目(兄1姉1妹2)で20歳で一度サラリーマンとして働くが、昭和24年から農業を開始。庭園を作ったりするのが趣味で、若い頃は車で函館や札幌まで植物を取りに行ったそうです。中には20年以上育てられたもみじが大切に植こられていました。

瀬戸 修一さん(52)

埼玉の生協で働いたのが、7年前に経営者として矩夫さんから家業を引継ぎました。船舶的な観光開発により、周辺地区果樹園と合同で土くさん祭を催したり、マスコミや行政による広告等を行っているそうです。(マスコミによる宣伝効果は絶大。)去年の土くさん祭では1日4000人もの来客数を記録。また、行政指導による低農薬栽培にも力を入れ、安心できる果実を栽培し、道認可のエコファーマーとして活躍中。

瀬戸 メラルさん(?)

修一さんの奥さん、トルコ人で年齢を聞く機会がなかったが、先代が若奥さんといわれていた。若い頃の花がなりたいはず、家庭栽培が趣味。



家庭菜園

瀬戸 エミーレさん

現在小学1年生の女の子。明るく元気な子で果樹園にや、おじいちゃんと一緒に遊んだりしているそうです。

まとめ

まとめとして後継者問題について着こうと思います。砥山果樹園に限らず、農家では後継者不足の問題が取りあげられています。おじいちゃんの考えによると、次の二点か原因として考えられるそうです。まず一点目は、収穫量が豊作と不作時ではかなりの差があり、その分収入面では採算割があわない点。二つ目は労働量のわりに収入が少ないという点です。

○ 瀬戸メラルさん(?)

修一さんの奥さんメラルさん。トルコ人で年齢を聞く機会がなかったが、先代が若奥さんとおっしゃっていたので、かなり若いはず。家庭栽培が趣味。

瀬戸 矩雄さんの庭



瀬戸 矩雄さん

北海道大学経済学部3年
17030068 白濱賢

平成17年 7月26日

砥山果樹園



木の形前は変りないそうです。
でも、花の色も多いと教えてくれました。
⇒ 地域の人はこの交流を活発におこなう。



桜



瀬戸さん宅 玄関には

ミニトマトがありました。



朝顔



庭に咲かれています。



庭には
多くの種
類の木や花
がありました。

ほとんど近くの山で育っている
ものだそうです。

八食り山には
実に多くの種類の
植物があることが
わかりました。



赤松

庭にはおよそ100種類
くらいあった!!

矩雄さん趣味の日本庭園
モミジや松など、きれいに剪定されています

※ かなりの腕前です!!

矩雄さんのお父さんが
最初に植えた木で樹齢100年以上